

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年4月6日		記入者		連絡先	513
平成18年度部名	教育総務部		課名	津久井教育課	課長名	八木 正夫
平成19年度部名	福祉部		課名	津久井福祉課	課長名	斉藤 久男
事務事業名	青少年健全育成環境づくり事業					
予算上の事務事業名	青少年健全育成環境づくり事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります					
基本施策名	第1節 生涯学習の推進					
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
相模原市青少年健全育成組織補助金交付要綱、相模原市地域・子どもふれあい事業補助金交付要綱等						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	相模原市青少年健全育成計画			青少年の健全育成推進のため、家庭・学校・地域のあり方や今後のあるべき施策の方向を示したものの。		
計画年次	平成16年度	～	平成25年度			
4 事業形態の区分			啓発・広報・イベント	5 事業開始年度		
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)		
青少年の健全育成を進めるために、各地区青少年健全育成組織の育成を行うとともに、家庭、地域、学校の連携強化を図る。				小中学生及び一般		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
1 社会環境健全化活動 社会環境実態調査の実施 有害図書類調査						
2 青少年健全育成活動 宿泊通学体験事業 参加者18名 サイクリングツアー 参加者37名						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
他市においては、青少年の健全育成環境づくりについては、地域に協議会を設置し、その支援を行うとともに、地域と連携し、事業を進めている。						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	1,057	976	976	
一般財源	0	0	1,057	976	976	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	630	630	630	
事業コスト合計	0	0	1,687	1,606	1,606	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	サイクリングツアー			対象名称 と単位	参加者(人)	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	93	120	120	
対象数	0	0	37	50	50	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	2,514	2,400	2,400	
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	0.95	1.00	

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	事業数（事業）	指標式と指標の説明	全事業数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	4.0		
目標	0.0	0.0	4.0	4.0	4.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数（人）	指標式と指標の説明	事業の実参加者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	55.0		
目標	0.0	0.0	70.0	70.0	70.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	78.6		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		青少年の健全育成を進めるため、青少年指導員を中心に家庭、地域、連携して、社会環境実態調査や有害図書類の調査の実施、また、サイクリングツアー等青少年健全育成活動を行っており、今後も現状維持したいと考えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
			事業実施時の安全性の確保		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			